

日本教育保健学会年報 第25号

巻頭言 私の「教育保健研究」事始め 近藤 真庸 Masanobu KONDO

第I部 投稿論文

(総説)

「教育保健学」定立の再吟味とこれからの課題

数見 隆生 Takao KAZUMI

(論文)

学校保健史研究における地域私立衛生会雑誌の資料的価値

高橋 裕子 Yuko TAKAHASHI

(資料)

日本の中学校・高等学校の運動部活動における体罰に関する研究動向

－顧問・指導者の怒りを取り巻く体罰の要因に着目して－

霜触 智紀 Tomonori SHIMOFURE

笠巻 純一 Junichi KASAMAKI

中台 桂林 Keirin NAKADAI

第II部 年次学会報告

第14回日本教育保健学会 (2017年3月25日～26日 東北福祉大学)

シンポジウム

I 子どもの発達困難の現状と背景－その発達支援の課題をめぐって－

II 教育保健の課題 －ケアと教育の統合的支援をめざす取り組み－

特別講演

格差社会に見る思春期・青年期の性 －医療現場からのレポート－

村口 喜代 Kiyoko MURAGUCHI

課題別セッション

I 教育保健学のカリキュラムデザイン

II 教育としての学校保健の諸活動

III 養護教諭の仕事

IV 思春期における性的自立をはぐくむ性教育実践の検討

学会共同研究「教育保健研究の内容と方法」研究プロジェクト中間報告

日本教育保健学会役員名簿

日本教育保健学会年報投稿規定

日本教育保健学会会則

日本教育保健学会役員選出規則

査読御礼

編集後記